

令和8年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名：保健推進課

シート No.：13-1

作成日：2026. 5/1

（１）総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅱ 保健・医療・福祉の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 生涯にわたり市民の健康を守り、育む	特定健診受診率について、令和5年度は36.5%、令和6年度は36.1%であり、県平均の38.3%を下回り、未受診者対策が重要となっています。特定保健指導実施率については令和6年度より健診当日の初回面接を開始し、早期介入をして行動変容を促すように工夫することにより、56.3%と県平均を大きく上回り県で6位となりました。しかし令和7年度は暫定37.5%と平年並みに戻りつつあります。特定健康診査を受けることで、自分の健康状態を知り、健康への意識改革を行うほか、生活習慣病の早期発見や予防活動に取り組むことで、自立した生活を継続すること及び医療費の適正化を目的とします。	国では、市町村国保において、特定健診等実施計画期間の最終年度である令和11年度までに特定健診受診率60%以上、特定保健指導実施率60%以上を達成することとしています。市では令和8年度は特定健診受診率40%、特定保健指導実施率35%を目標にしていきます。
	施策	1 保健		
	施策内容	健康づくりの推進		
	その他、拠法令及び分野別計画等	高齢者の医療の確保に関する法律、データヘルス計画、特定健診等実施計画、健康プランじょうそう		
事務事業名		特定健康診査等事業		

（２）アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

（３）インプット（投入）

No.	アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 8 予算額	R 8 決算額
	活動名・事業名 （対象年）	R 8 活動・事業内容	指標名（単位）	R 8 目標値	R 9 目標値		
				R 8 実績値	R10 目標値		
①	特定健康診査 （集団検診） （R8・9・10）	40 歳～74 歳の国民健康保険被保険者の特定健康診査	受診者（人）	1,900	1,800	22,604 千円	千円
②	特定健康診査 （医療機関） （R8・9・10）	40 歳～74 歳の国民健康保険被保険者の、医療機関における特定健康診査	受診者（人）	140	130	3,549 千円	千円
					120		
③	特定健康診査 （人間ドック） （R8・9・10）	40 歳～74 歳の国民健康保険被保険者の人間ドック	受診者（人）	810	800	16,740 千円	千円
					790		
④	特定健康診査 （脳ドック） （R8・9・10）	40 歳～74 歳の国民健康保険被保険者の脳ドック（隔年）	受診者（人）	50	40	2,160 千円	千円
					30		
⑤	特定保健指導 （R8・9・10）	40 歳～74 歳の国民健康保険被保険者で、腹囲、BMI、血液検査（血糖、脂質、血圧）、喫煙歴等が基準に該当した者へ、生活習慣改善のための保健指導を行います。	受診者（人）	147	147	539 千円	千円
					147		
⑥	プレメタボ健診 （R8・9・10）	37 歳～39 歳の国民健康保険被保険者の健康診査（問診、身長、体重、腹囲、血圧測定、血液検査、尿検査、眼底検査、心電図）	受診者（人）	50	40	407 千円	千円
					30		
⑦						千円	千円
⑧						千円	千円
⑨						千円	千円
⑩						千円	千円

（４）アウトカム（成果）

成果に関連する上記（２）の活動名・事業名（No.）	指標名（単位）	指標の設定理由と目標値の根拠 （目標値を達成することにより市として何が達成されるか）	R 7 現状値	R 8 目標値	R 8 実績値	目標年度
						目標値
①②③④	特定健康診査受診率（％） （法定報告）	市民が自立した生活を送ることができ、医療費が適正化されます。	25.9%	40%		令和11年度
						43%
⑤	特定保健指導実施率（％）	市民が自立した生活を送ることができ、医療費が適正化されます。	19.8%	35%		令和11年度
						38%

（５）目的・成果の達成に向けた点検・改善

業務の振り返り	改善の余地	今後の方向性
	☐ コスト	
	☐ 活動	
	☐ 成果	
	☐ その他	